

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林ふれあい推進センター・こだま通信



箕面市立萱野北小学校生を対象に

「オオクワガタの棲める森づくり下刈体験イベント」を開催



森林整備部長の開会挨拶

箕面森林ふれあい推進センターでは、7月9日(火)箕面国有林において箕面市立萱野北小学校6年生66名を招いて「オオクワガタの棲める森づくり下刈体験イベント」を開催しました。

当日は、梅雨も明け、夏本番を迎え朝から蒸し暑さを感じる天候のなか、午前10時に子どもたちや引率の先生方が到着し、イベントがスタートしました。

午前中は、「オオクワガタの棲める森づくり」箇所での林内散策と下刈体験です。子どもたちは6班に分かれて、植樹した苗木の生長、防鹿柵の様子、林内と林外の気温の差、伐採したあとの植生の移り変わりなどを、リーダー役の森林管理局や京都大阪所の職員の説明を聞きながら見て回りました。植樹箇所では、3年前に自分たちで植えたクヌギやコナラが大きく育っているのを見て「あー、大きくなって」と触って生長を確かめてみたり、記念標柱の前ではメッセージボードの文字を懐かしそうに見入っている子どもたちもいました。



木の特徴を調べる

下刈体験では、はじめに日本森林ボランティア協会の皆さんから下刈鎌の使い方や、なぜ下刈をするのかなどを説明を受けた後、実際に鎌を使って下刈を行いました。子どもたちは「簡単に切れた。」「うまく切れないけど頑張った。」など感想も様々でしたが、炎天下の中で子どもたちの元気な歓声が響いていました。



下刈を体験



ボランティアによる植物視察

(ムラサキシキブとヤブムラサキの違いを観察)



記念標柱の前で自分たちの植えたクヌギを観察

昼食後は、樹名板の設置の体験です。各班毎に、箕面市のボランティア団体の方々に案内されて目的の木に向かいました。それぞれの班では、五感を使って、葉の形や、葉の付き方、においや木の肌の色など特徴を見つけては記録係が書き留めていきます。まずは、調べた特徴などから自分たちで名前を考えます。その後、本当の名前を樹木図鑑で調べます。その後の発表用の見本に枝を少しばかり取って「青空教室エリア」へと向かいました。

ここで各班毎に、自分たちの調べた木の特徴や命名した木の名前、本当の木の名前、においなど元気な声で発表していきます。命名した木の名前をにおいから「ゴマシュー」と名付けて、普通はくさいとだけしか思わないところを、においがゴマに似ていたからこの名前にしたなど、子どもの感性には驚かされました。(本当は「クサギ」)

当日は猛暑となり、子どもたちの熱中症なども心配されましたが、交代で何回も下刈をする子どもがいるなど、準備したメニューの中では、下刈が一番人気があったようでした。

盛り沢山の里山づくり体験となりましたが、子どもたちにとって、この日の経験が、森林や林業への興味につながっていくことをスタッフ一同願いながらイベントを終了しました。



樹木の特徴などの調査



樹木の名前を図鑑で調べる



各班の調べた樹木の発表

「箕面体験学習の森」利活用等検討部会開催

箕面森林ふれあい推進センターでは、7月26日箕面国有林において、「箕面体験学習の森」利活用等検討部会を開催しました。

本部会では、植生調査の報告、「オオクワガタの棲める森づくり下刈体験イベント」の報告を行い、学習ルート^オの検討では、オオクワガタの棲める森づくり^オ箇所を活用したルート設定が、学習には有効であるなどの意見がありました。

今後委員からの意見を参考に、学習ルートを検討していきます。



部会の様子



学習ルート上の百葉箱などを視察

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター(4月1日より組織名称が変更となりました。)

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F

